

競技注意事項

1 競技について

- (1) 本競技会は、2016年日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項によって運営する。
- (2) 競技者招集について
- 招集場所は、本競技場第2ゲートに置く。
 - スタートリストはプログラム記載の招集開始時刻1時間前より掲示する。(招集開始時刻までには、招集場所に集合すること) 招集開始時刻より点呼を開始する。
競技者本人がナンバーの確認を受けること。他の種目に出場している場合は代理人でもよい。
 - 本人がナンバーカードを競技者係に見せ最終点呼を受ける。但し、棒高跳の競技者は跳躍場において点呼を受ける。その際に「支柱移動申込用紙」(招集所においてある)を競技役員に提出すること。
(招集開始、完了時刻は競技順序に記載の通りである)
 - 招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。
 - 招集所から競技場所への移動は係員の指示に従うこと。
 - 混成競技においては、1日目、2日目の第1種目は招集所で招集を受けること。ただし、第2種目目以降は混成にて点呼(トラックは競技開始の20分前、フィールドは40分前)をとった後、競技場所へ移動する。
- (3) ナンバーカードについて
- 競技者は競技中、胸と背にはっきりと見えるように主催者が用意した2枚のナンバーカードを付けなければならない。跳躍種目の競技者は胸または背のどちらか一方でもよい。
 - トラック競技に出場する競技者は、大会本部が用意する写真判定用の腰ナンバーカードを右やや後方に付ける。
 - 混成競技最終種目では、総合順位の高い競技者から順番に「1」「2」「3」と順位を示す別ナンバーカードを使用する。
- (4) 競技規則162条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- (5) スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。また走高跳及びやり投の場合は12mm以下とし、ピンの数は11本以内とする。またスパイクピンの先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。
- (6) 組・走路順および試技順について
- トラック競技における予選ならびに決勝のみのトラック競技の走路順およびフィールド競技における試技順はプログラム記載の通りとする。
 - トラック競技における決勝の走路順は番組編成員により公正に抽選し、掲示板に貼り出す。
- (7) リレー競技について
- リレーのオーダーは、予選・決勝とも所定のオーダー用紙に記入し、招集完了時刻の1時間前までに招集場に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。2日目男女の4×400mRのオーダー提出に関しては、前日の16:00までに招集所に提出してもよい。当日は7:30から受付を始める。
 - リレーに出場するチームは、同一のユニフォームを着用すること。
- (8) 跳躍競技のバーの上げ方について
下記の通りとする。ただし、天候等の状況により最初の高さおよびバーの上げ方を変更することもある。1位の決定を要するときは、棒高跳は5cm・走高跳は2cmの上げ下げによって決定する。

走高跳	男子	練習 1m70 1m90	1m75 1m80 1m85 1m90 1m95 以後3cm
	女子	練習 1m40 1m50	1m45 1m50 1m55 以後3cm
混成 走高跳 (2ピット)	八種	練習 1m40 1m60	1m45 1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m75 1m80 1m83 以後3cm 2ピットとも同じ高さから開始する
		練習 1m10 1m30	1m15 1m20 1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 1m48 以後3cm 2ピットとも同じ高さから開始する
棒高跳 (女子オープン)	男子	練習 3m50 4m00	3m60 3m70 3m80 3m90 4m00 4m10 以後10cm
	女子	練習 2m30 2m70	2m40 2m50 2m60 2m70 2m80 2m90 以後10cm

※ 三段跳の踏切板は、砂場まで男子12m、女子9mとする。 ※棒高跳の練習はゴムバー使用

(9) フィールド競技について

- フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳では助走路内)に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、それぞれの審判員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。

b コーチングエリアを設ける。

(10) 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助力については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。陸連競技規則の改正に伴い、ビデオ等による助言は認める。ただし、競技者が視聴可能なコーチングエリアとする。また、吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため当該エリアから離脱するような行為、文書をもって連絡することは認めない。また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器などを競技場内に持ち込むこともできない。

(11) 競技用具について

競技場備付のものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは、検査の上私物の使用を許可する。

検査所 棒高跳・・・当該跳躍場

2 表彰について

各種目とも8位までの入賞者は成績発表後、本部前で表彰を行うので受彰者控所に集合のこと。（競技役員の手指示に従うこと）

3 応援について

- (1) 競技に支障のあるような応援はしないこと。特にフィールド競技試技中の集団応援は、サイド、バックスタンドの2階席スタンドで行うこと。
- (2) メインスタンドでの集団応援、およびメインスタンド最前列に立っての応援は禁止する。
- (3) メイン・サイド・バックスタンドでのテント設営を禁止する。テントを設営する場合は、芝生スタンドとする。
- (4) ホームストレート延長線上のサイドスタンドでのテント設営、横断幕、のぼり旗は禁止する。
- (5) 横断幕・のぼり旗などの応援布は芝生スタンドより上のフェンス及び手すりのみ許可する。メインスタンドでの横断幕・のぼり旗などの応援布は禁止とする。

4 練習について

- (1) 練習は原則として、本競技場・補助競技場および雨天走路を使用し、事前に連絡した「練習会場使用日程表」に従い行うこと。
- (2) 投てきの練習は、必ず各学校の監督が付添うこと。
- (3) 練習中の事故は、各学校の引率者の責任で対処すること。

5 応急処置について

大会期間中の事故については、本競技場医務室にて応急処置のみ行う。

6 その他

- (1) 製造メーカーの名称については、規定外のものが見えないようにテープを貼って対処すること。
- (2) トラック種目の衣類運搬について
100m・200m・1500m・3000m・5000m・100mH・110mH・3000mSC・5000mW・4×100mRの第4走者の衣類については、フィニッシュ地点まで運搬する。なお、4×100mRの第1～3走者については、衣類運搬を行わないので、本人が出走した地点へ戻ること。
- (3) メインスタンド下通路（大会運営室側）は、競技者の通行ができない。競技終了後は第1ゲートから出てスタンドの外側を通ること。ただし、入賞者は通路を通って表彰者席へ誘導する。
- (4) 本競技場の開場について
10月21日（金）は11時15分、22日（土）、23日（日）は6時50分以降とする。
- (5) 学校受付は、富山県総合運動公園陸上競技場正面玄関ロビーにて行う。
10月21日（金）は11時00分から17時まで、22日（土）・23日（日）は8時から行う。
- (6) 本競技場の場所取りは、10月21日（金）10:20～10:50までに入場順を決める抽選を玄関ロビーで行い、11:00より抽選結果順に各校2名以内で入場する。ただし、メインスタンド、雨天走路は場所取りができない。
- (7) 混成競技者控室は、本競技場地下1階トレーニング室に設ける。
- (8) 写真・ビデオ等の撮影について
受付で撮影許可証を受けること。また撮影禁止エリアでの撮影は禁止する。